

公共事業事前評価調査(公共事業事前評価結果整理表)

主要目標番号	Ⅱ.Ⅱ-2.(1)
対象事業	治水事業
主要目標	洪水被害の防止

優先順位付け の考え方	対象地区・箇所名	個別事業の妥当性評価						事業間優先度の評価					事業間 ランク	評価委員会意見	総合意見	評価結果
		公共関 与、事 業執行 主体の 妥当性	経済効 率性	事業 実施、 規模 の妥当 性	整備 手法 の有 効性	環境 負荷 への 配慮	事業 計画 の熟 度	貢献度ランクの評価			副次効果ランクの評価					
								貢献度 ランク	過去の災害実績、事 業の緊急度、災害発 生の危険度(評点法)	想定氾濫区域1ha当 たり被害軽減額	副次効果 ランク	評点				
									点	百万円/ha						
	湯川	○	○	○	○	○	a	22	164	1	1	SI			実施	
過去の災害実 績、事業の緊急 度、災害発生の 危険度が高く、想 定氾濫区域1ha当 たり被害軽減額 が大きい地区を優 先する。																
							基準値	21	6	基準値	1.0					

副次効果評価調書

主要目標番号		II. II-2. (1)		主要目標に対応する副次効果項目	対象地区・箇所 で想定される副次効果	評価の説明	評価結果
主要目標		洪水被害の防止					
評価対象地区・箇所名		湯川					
主要目標項目	I. 県民生活の豊かさ と経済の発展を支える 基盤充実	I-1. 交通の利便性の向上	(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上				
			(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上				
			(3) 市街地内の交通の円滑化				
			(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上				
		I-2. 生活環境の向上	(1) 森林機能の維持・向上				
			(2) 憩い空間の創出				
			(3) 生活排水処理機能の向上				
			(4) 良好な市街地空間の確保				
			(5) 適正な居住空間の確保				
			(6) 歩行者等の通行空間の確保				
			(7) 道路景観の向上				
		I-3. 農林水産業の振興	(1) 中山間地域等の農村生活・生産機能の向上				
	(2) 農業生産力の向上						
	(3) 農業用排水能力の向上						
	(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)						
(5) 森林整備の効率化							
II. 暮らしと経済活動の 安全性確保	II-1. 交通の安全性の向上	(1) 歩行者等の安全性の確保					
		(2) 災害に強い道路の確保					
		(3) 都市災害防止					
		(4) 交差点の安全性、円滑性の向上					
	II-2. 洪水・土砂被害の防止	(1) 洪水被害の防止					
		(2) 土石流被害の防止					
		(3) 崖崩れ被害の防止					
		(4) 地滑り被害の防止					
	II-3. 鳥獣被害の防止	(1) 鳥獣被害の軽減					
	副次効果項目	交通利便性	交通ターミナル機能の強化				
アクセス機能の維持							
主要渋滞ポイントの解消							
生活環境		水質の浄化					
		大気汚染の軽減					
		騒音・振動の軽減					
		良好な景観の創出					
		バリアフリー化の促進					
		ライフラインの強化					
		身近な緑地・交流の場の提供	●				
		飲雑用水の安定供給					
		糞尿の処理					
		地域の文化・学習等活動の支援	●				
自然環境		水源涵養機能の向上					
		生態系空間の再生	●				
事故・災害防止		防火帯・延焼遮断帯の確保	●				
		緊急時の避難・救助機能の確保	●				
		被災時の被害波及の防止	●	○	浸水被害区域内に緊急輸送道路:(主)甲府董崎線(第2次緊急輸送道路)	1	
		既存施設の崩壊危険性の排除	●				
		走行安全性の確保					
生産性	林業生産力の向上						
	遊休農地の解消						
	新たな公共用地の創出	●					
	農地の保全						
その他	農林産物の販売促進						
	自然エネルギーの活用						
	リサイクルの推進						
	文化・歴史的資源等の保存・復元						
重要プロジェクトとしての位置づけ	他事業との一体施工	●					
	重要プロジェクトとしての位置づけ	●					
副次効果 評点合計							1

注1)「主要目標に対応する副次効果項目」の欄に「●」が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所」で想定される副次効果の欄に「○」を記入、「評価の説明」欄に具体的な評価内容を記入する。  
 注2)副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランクaに該当するものは2点、ランクb以下の場合には1点とする。

## 河川改修事業（湯川）

過去の災害実績（過去10ヶ年の実績被害を対象にして）		評点
(1) 浸水頻度		
A 4回以上		3
B 3～2回		2
C 2回未満		1
(2) 最大浸水戸数		
A 100戸以上		3
B 99～30戸		2
C 30戸未満		1
(3) 床上浸水の浸水戸数（最大）		
A 20戸以上		3
B 19～5戸		2
C 5戸未満		1
(4) 最大農地浸水面積		
A 100ha以上		3
B 99～30ha		2
C 30ha未満		1
(5) 避難勧告の有無		
B なし		0
(6) 重要な公共施設等（※1）の有無		
A 3施設以上		3
B 2施設		2
C 1施設以下		1
(7) 災害弱者関連施設（※2）の有無		
A なし		3
(8) 重要公共網の遮断状況（一つの公共機関で過去最大のもの）		
A 12時間以上		3
B 6時間以上12時間未満		2
C 6時間未満		1
事業の緊急度（過去近3ヶ年実績被害を対象にして）		評点
(1) 被害実績の有無		
B あり		2
(2) 水防活動回数（累計）		
A 2回以上		3
B 1回		2
災害発生の危険度		評点
(1) 改修目標流量に対する現況流下能力の割合		
A 0.2未満		3
B 0.2～0.5未満		2
C 0.5以上		1
(2) 現況の治水安全度（生起確率の方で算出）		
A 5年未満		3
B 5～10年未満		2
C 10年以上（補助河川・安全に流せる洪水規模の生起確率）		1
A 30mm/h未満		3
B 30～50mm/h未満		2
C 50mm/h以上（補助河川・安全に流せる降雨量）		1
(3) 災害危険区域等の指定の有無（洪水氾濫によるもの。急傾斜地・土砂災害は除く。）		
B あり		2
(4) 高齢化率（代表都市町村の65歳以上の人口構成比）		
A 40%以上		3
B 40～30%以上		2
C 30～20%以上		1

※1 重要な公共施設

主要道路、鉄道、上水施設（浄水場等）、電話（中継所）電気（変電所）、市役所等、警察署、消防署、保健所、学校、その他公共施設

※2 災害弱者関連施設

身障者施設、老人ホーム、幼稚園、病院、その他施設